



ばら組

たてばっこだより2



6・7月は存分に泥遊びをしてきました。砂場にプールをつくりたい！という思いから、バケツで水を汲んで一生懸命砂場に運んだり、樋を繋げて水を流してみたりして、遊ぶうちに思いを実現させる遊び方をいくつも発見してきました。色水作りでは、お花と水の分量を調節しながら色々な味のジュースをつくりました。友達とお店屋さんを開いたり、お客さんとのやりとりを楽しんだりした流れから、お部屋でもアイス屋さんが始まりました。つくって遊ぶことも大好きなばら組さん。手先を器用に使って七夕飾りも楽しみながらつくりましたよ。

七夕の織姫と彦星の話を興味津々で聞いていたばらくみの子どもたち。七夕飾りをつくる、短冊に願いを込める、笹の葉に触れるなどの活動を通して伝統文化に親しむことは、子どもたちの豊かな想像力につながり、感性が育まれていきます。

「織姫さんと彦星さん、会えなくて悲しそうですね」この一言に、優しさや、相手を思いやる気持ちなど、色々な感性が詰まっていますね。

できあがった達成感や嬉しさを味わう



プール遊びもしたよ！キラキラと光る水面を見て「海みたいだね」とイメージを膨らませ、全身で水の心地よさを味わいました。存分にプール遊びを楽しんでいます！

数・形・長さに興味をもつ



見て見て！

もっと長くしたいな

織姫と彦星のペープサートで遊んでるよ

お話の始まり始まり～



友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう

ひとりでできるもん



やってみようとする意欲をもつ

色々な種類の七夕飾りをつくってきました。繰り返していくうちに、「まだまだ繋がりたい」「もっと長くしたい」と、意欲が湧き、みんな真剣な表情で飾りづくりをしてきました。満面の笑みで喜んで、とても嬉しそうに「できた！」と達成感を味わっていました。

ひらひらが髪の毛みたい！

じゃーん！みんなにも見せたい～

今、10個つながった



手先を細やかに使う



繰り返して遊ぶ中で自分なりに試したり工夫したりする

つくっている中でイメージを広げる

ばらくみのダンゴムシハウスでは、子どもたちが一生懸命集めてきたダンゴムシが約30匹います。雨に打たれてダンゴムシハウスが浸水した事があり、たくさんのダンゴムシが亡くなってしまいました。

毎日毎日ダンゴムシの世話をしていたので、心を寄せていた分、悲しい出来事になってしまいました。自然の摂理を肌で感じ、命の大切さについて身近に考えることができたと思われます。「寂しいね」「また会おうね」「雨に濡れないように。ちゃんと屋根の下に入れとかないと」「またお友達集めよう」生き物を育てる中で、命の大切さに気づいています。

1学期の終わりには園庭に逃がしてあげようと思っています。ダンゴムシさんも広い幼稚園でたくさん遊んでね！また会おうね！

こっちおいで～

生き物に直接触れる経験を通して、思いやりの心をもつ

気付いたことや感じたことを友達と伝えあう

葉っぱの下に集まっているね

